

第2回学校給食あり方検討会

- 1 日 時：平成30年7月25日（水）15時30分～16時50分
- 2 場 所：議会第3会議室
- 3 出席者：○長崎市PTA連合会（4名）
濱添会長、溝上副会長、梅元食育委員長、原顧問
○教育委員（3名）
小原委員、坂本委員、吉松委員
○学校関係者（3名）
小林校長（高城台小）、田中校長（淵中）、白川給食主任（矢上小）
○教育委員会事務局（8名）
馬場教育長
教育総務部：小川総務課長
学校教育部：山田学校教育部長、田畑健康教育課長、岳尾学校給食係長、
岩崎主任、中川専門官、高稲指導主事
- 4 次 第（1）「学校給食あり方検討会」委員の紹介
（2）第1回検討会の議事録の確認について
（3）平成30年6月補正予算（学校給食センター整備関連予算）について
（4）PTA及び地域住民等に対する説明資料について
（5）その他

5 協議概要

（事務局）例年になく暑さによる熱中症の多発、ブロック塀の倒壊による死亡事故など、子どもたちにとって油断できない状況が続いている。学校給食については、あり方検討会の中で子どもたちにどのようなよりよい給食が提供できるかという大きな目標をひとつにしながらか進めていきたいが、目の前にある学校給食センターの問題として、どう建設し、どう学校給食を提供するか、また、その他学校給食に関して、忌憚のない意見をいただきたい。6月議会で補正予算が承認され、ゴーサインが得られたが、これはスタート地点である。これからどんなよりよい形の学校給食センター、そして学校給食の提供ができるかについて、委員の意見を伺いながら作り上げていきたい。

- （1）「学校給食あり方検討会」委員の紹介
（各委員）自己紹介

(2) 第1回検討会の議事録の確認について

(事務局) 第1回検討会の議事録について、来週中にホームページに掲載したい。修正がある場合は、今週中を目途に事務局まで連絡してほしい。

(3) 平成30年6月補正予算(学校給食センター整備関連予算)について

(4) P T A及び地域住民等に対する説明資料について

(事務局) (仮称)長崎市三重学校給食センター整備事業費について、平成30年度一般会計当初予算に計上したが、減額修正されたため、平成30年度6月議会に補正予算として再度計上した。賛成多数で原案どおり可決されたが、①当初予算の減額修正を踏まえ、P T A等にしっかり説明してほしい。②食物アレルギーについては、代替食の導入を確実に行ってほしい。③2か所目、3か所目の整備も含めた基本計画を示し、残された地区との格差がなくなるよう早急に整備を行ってほしい。という要望がなされた。教育委員会としては、①P T A等には今後も丁寧な説明に努めたい。②代替食については、安全な除去食の提供ができてから、どの程度の代替食が可能か検討したい。③適地が見つかり次第、2か所目、3か所目も早急に整備に取り掛かりたい。と考えている。

(資料の説明)

<今後のスケジュールについて>

- ・P F Iアドバイザー契約、土質調査、P F I事業者の選定、及び学校給食センターによる給食提供開始時期等に関するスケジュールを説明。
- ・各学校P T Aを対象とした説明会及び他都市学校給食センター視察の予定、並びに地元自治会への説明会の予定等について説明。P T Aへの説明会は、中学校校区単位又は育成協単位で実施したい。
- ・学校給食あり方検討会については、定期的な開催を予定している。

<P T A及び地元用のリーフレットについて>

・『これからの長崎市の学校給食』

現状、課題、課題への対応、学校給食センターの不安を解消する取り組み、学校給食センターの整備構想、長崎市が目指す給食のあり方等について記載している。委員からの意見を伺いたい。

・『(仮称)長崎市三重学校給食センター整備に関するQ&A』

これまで寄せられた代表的な質問に対する回答を記載している。委員からの意見を伺いたい。

<(仮称)長崎市三重学校給食センターからの配送対象校について>

豊万台からの配送時間、現行の給食室の築年数及び設備、ドライシステム対応、現在の献立内容の充実度、並びに栄養教諭等の配置有無等を考慮して配送対象校案を作成した。委員からの意見を伺いたい。

(委員)リーフレット『これからの長崎市の学校給食』の6のタイトルについては、「すべての子供たちに喜ばれる給食を目指して」を「すべての子供たちの健やかな成長を目指して」としたほうがよい。

(事務局) タイトルの変更を検討する。

(委員) 県内他都市のセンターについて、処理能力は示されているが、実際の調理数を教えてほしい。

(事務局) 平成 29 年 12 月現在、諫早市西部給食センターは 5,730 食、諫早市東部は 6,558 食、佐世保市は 5,933 食、大村市は 7,295 食が実際の調理数となっている。

(事務局) 他都市は若干余裕を持たせている。長崎市は平成 33 年度で 7,376 食の予定。

(事務局) 次に『Q & A』に関して、気づきや意見をお願いしたい。

(委員) 今初めて見る資料であるため意見は困難である。資料は事前に送付してほしい。

(事務局) 申し訳なく思っている。7 月 30 日に P T A に示したいため、それまでに意見ももらいたい。特に、配送対象校案については本日意見をいただきたい。その他の資料については、7 月 30 日の午前中までに担当あて意見を連絡してほしい。

(事務局) 地域住民から、「夏休みも給食センターは稼働しているのか？」などの質問もあった。事務局で想定していない質問もあると思うので、そのような意見もお願いしたい。

(事務局) 保護者がどんなことを聞きたいのかなどを想定して意見をいただきたい。

(委員) 「Q & A」の Q 1 に「代替食の提供も可能となる」とあるが、Q 16 には「除去食」のことだけしか書かれていない。「代替食」のことも記載した方がよい。

(委員) 豊洋台からの時間調査はどのように行ったのか。

(事務局) グーグルマップで 11 時～12 時の時間設定で検索した。すべて走ったわけではないが、A 小学校には実際走ってみた。

(委員) 資料に、どのように調べたか注釈を入れた方がよい。

(事務局) 実際に走ってみる。B 小学校などバイパスを利用することもある。このようなことも注釈に入れたい。

(委員) C 小学校は、電車通りから入ると思うが、(遠距離のため) 寄り道できない。

(事務局) 配送車を何台入れるかによっても変わってくる。ルート次第で変わってくるので、案としている。

(委員) 供用開始以降におけるセンターへの取り込みや児童数の減少など、7,376 食の計算は大丈夫か。

(事務局) 中央にセンターができた時点で C 小学校を中央に取り込み、他の学校を北部への考えもある。

(事務局) D 小学校と E 中学校は、センターからは近いが、食数や栄養士の配置を考慮して外し、条件の悪いところから取り込むこととした。ドライシステム校は、当面活用していく。

(委員) 中央にセンターができたら、赤丸(豊洋台対象校)の学校は変わっていくのか。

(事務局) 変わっていく。近い方に取り込んでいくこととなる。

(委員) 対象範囲の図が分かりにくい。誤解を生まないようにする必要がある。

(事務局) 色付けを工夫したいと思う。

(委員) 栄養士の配置数は、この計画では、結果的にはあまり変わらないようだ。

(事務局) 栄養士が減り、食育が落ちることのないよう、配置数については県と協議する。

- (委員) 給食センターに期待している人もいると思う。アレルギー対応の平準化が望まれる。琴海地区が外れているため、豊洋台ありきの図と思われたいよう、今のところは除外する旨の説明があった方がよい。
- (事務局) 豊洋台は、最終的には琴海と外海をカバーする。そのような意見もあるため、2か所目、3か所目を今後10年で整備する予定である。
- (委員) F中学校など除外校については、要望があれば対象として検討されうものか。
- (事務局) 可能であれば検討する。
- (委員) ドライシステムではない、老朽化した学校からは、早く給食センターを整備してほしいとの声が出て来るのではないかと思う。
- (委員) 食物アレルギーと食育の充実を図ってほしい。栄養士の配置について、市も加配の要望をされているが、(国や県の)根本の配置数が少ない。PTAも市に足並みを揃えて、県や国にどのような働きかけをすればよいのか教えてほしい。
- (事務局) 市町村教委連には毎年要望している。PTAから要望を出してもらえればありがたい。
- (委員) その時の資料をいただきたい。
- (委員) 長崎市の給食費は、全国的に見ても安い。未納が出ないように、給食費について分かってもらいようにした方がよい。
- (委員) 給食の質が大切。給食費の関係でカット野菜などを使用することがないよう、質の保全の面から値上げを検討してほしい。
- (事務局) 生の野菜が手に入らない時は冷凍野菜を使用することもあると思うが、基本的には生の野菜を導入するようにしている。
- (委員) 不安に思っている保護者がいる。育成教単位でもよいので、PTAへの説明は早めがよい。
- (事務局) 大きなくくりで早い段階で実施し、その後、希望する単Pへ説明するなどで対応したい。
- (委員) 日本一の給食センターになることを望む。周りの環境を考慮し、交通事故など、子どもの安全を第一に考えてほしい。
- (事務局) 地元からも騒音や交通問題について不安の声があるため、かわら版や説明会などで周知するようにしている。
- (委員) 食育委員会でも給食センターのことは周知している。PTAも協力し、よりよいものにしていきたい。
- (委員) 他都市の給食センターの見学の日程が入っているが、この日で決定か。9月19日に市P連の母親部会が入っている。
- (事務局) 7月30日にアナウンスし、8月9日の登校日にお知らせを持って帰ってもらう。配送対象校にまずは声をかける。見学会の日程については、再度佐世保市と調整する。

以上